

平成28年度第2回環境審議会概要

開催日時

平成29年2月15日（水）午後2時00分～

出席者

審議会 角田会長、石原副会長、岡野委員、佐山委員、田口委員、生方委員、小林委員、桑原（滋）委員、桑原（雅）委員

事務局 松井市民部長、坂田環境課長、武井エネルギー対策室長、栞原環境係長、高橋主査

配付資料

- ・事前配布資料 第二次沼田市環境基本計画年次報告書に係る質問への回答
- ・事前配付資料 沼田市再生可能エネルギー導入方針（案）
- ・当日配布資料 平成27年度第二次計画年次報告書公表に係る広報ぬまたへの掲載（案）
- ・当日配布資料 沼田市再生可能エネルギー導入方針（案）佐山委員からの質問及び回答

会長及び副会長の互選

会長 利根沼田自然を愛する会 角田委員

副会長 沼田市くらしの会 石原委員

議 事

(1) 平成27年度第二次沼田市環境基本計画年次報告書について

事務局説明

- 沼田市環境審議会（審議会）、第二次沼田市環境基本計画（第二次計画）の基本的事項について
- 事前配布資料「第二次沼田市環境基本計画年次報告書に係る質問への回答」について
- 次年度からの第二次計画進行管理方法について
- 本日配付資料「平成27年度第二次計画年次報告書公表に係る広報ぬまたへの掲載（案）」について

主な意見

- 第二次計画の進行管理について
 - ・ 審議会の意見及び質問は各担当課へ伝えた後、それに対する回答、対応方針または対応できない場合の理由等も追って確認し、各委員へ伝えるべき。

(2) 沼田市再生可能エネルギー導入方針（案）について

事務局説明

- 事前配付資料「沼田市再生可能エネルギー導入方針（案）」について
- 当日配布資料「沼田市再生可能エネルギー導入方針（案）佐山委員からの質問及び回答」について

主な意見

- 木質バイオマス発電所が市内または近隣にあって、そこに間伐材を出すことができれば、少しでも山林を整備できるのではないかと。
- 現実問題として、山の所有者が少しずつ間伐しなければ崩壊してしまう。
- 沼田市の環境問題を考えると、木質バイオマスが肝になる部分だと思う。エネルギーを使うという点だけであれば太陽光やバイオマスだけで良いが、環境問題を広く見ると、地場産木材の活用普及、有害鳥獣対策、景観の形成など諸々を含めた形の環境施策であるべき。そう考えると、木質バイオマスは薪が良い。
- 本市は「森林文化都市」を掲げており、二酸化炭素の排出削減だけではなく、荒廃が進む里山整備や環境保全、魅力あるまちづくりということも含めたエネルギー施策である。そのために市域の80%を占める山林を何とかしなければならない。
- みなかみ町に薪ボイラーを導入している温泉施設があると聞いているが、環境審議会ですういったところを見学したらどうか。
- 地産地消を目指すのであれば、（木質ペレットの生産等）できることを行った方が良い。目先のペレットを使えば良いという問題ではなく、全体を考えた時の環境問題を考えていきたい。よそから買うのではなく、エネルギー分野でも考えていただきたい。

(3) その他

事務局説明

- 新年度に伴う各団体への委員推薦依頼について事務連絡
- 環境審議会委員報酬について事務連絡